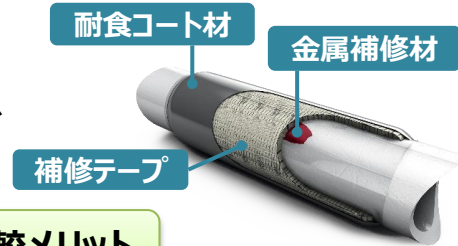


パイプリペアシステム

～ラインを止めずに補修！現場を支える補修のかたち～

「パイプリペアシステム」は、老朽化した配管の補修を迅速かつ安全に行う先進技術です。ロックタイト製の専用製品を使用し、設備の延命を図りながら、フル稼働を維持することができます。



用途

・製鉄所、発電所、化学コンビナート等
プラント設備における防食/延命化 ※注1

※注1：高温になる配管（蒸気配管等）には適応できません。
常用温度80℃以下を対象～詳細は事前に仕様確認が必要です。
（出典：ヘンケルジャパン（株）の試験データより）

類似工法との比較メリット

ライン停止不要・長寿命という大きな利点からトータルコストを抑制します。

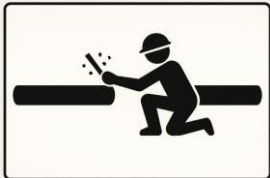
評価項目	ライン停止	防爆エリア施工	補修寿命 (強度)	環境影響	トータルコスト
パイプリペアシステム	○ (停止不要)	○ (可)	○ (最長9年)	○ (紫外線劣化無)	○
FRP	○ (停止不要)	○ (可)	△	△ (紫外線劣化有)	△
当て板溶接	× (停止必要)	× (不可)	○	○	△
部分取替	× (停止必要)	△ (火気不使用時は可)	○	○	△

※注2：施工条件・使用条件により異なります。
（出典：ヘンケルジャパン（株）の試験データより）

※注2

施工の流れ

Step1



下地処理 (手ケレンレベル)

Step2



減肉部補修

Step3



補修テープに接着剤含浸

Step4



補修テープ巻き付け

Step5



コーティング剤塗布

テックスエンジの強み：ヘンケル社（ロックタイト）認定技術者が全国の拠点で対応します！

施工事例



減肉した配管の強度を回復し、継続使用が可能に！

参考事例：300A配管（減肉率50%、補修長さ5m）に対し2層積層で補修を実施することで母材同等レベルの強度回復100%を実現！ ※注3



動画で
チェック



300A長さ5m配管減肉部補修
施工時間：8h（ライン停止無し）

性能比較表

耐久性・強度	評価項目	試験仕様	下地処理	パイプリペアシステム	FRP
平行方向の密着性	引張せん断強度試験	接着面積(mm ²):312.5 引っ張り速度(mm/min):5	手ケレン (2種ケレン)	16.8 N/mm ²	11 N/mm ²
垂直方向の密着性	平面引張試験 (接着試験)	建研式 接着面積(mm ²):1600	手ケレン (2種ケレン)	0.48 N/mm ²	0.3 N/mm ²
内部圧力の耐久性	耐圧性試験	配管：STPG25A 穴径6mm 2層積層 水圧にて実施	手ケレン (2種ケレン)	10MPa	3.5MPa

※注3：本データは参考値であり、施工条件・使用条件により変動します。（出典：ヘンケルジャパン（株）の試験データより）

※注3

引張せん断強度試験はFRPと比較して約1.5倍！ 耐圧性能ではFRPと比較して約3倍！

ライン停止による生産ロスに加え、ガス・液抜きや安全管理などの負担も回避！